



取水箇所の水路復元作業の様子

任意団体 恵那市小水力利用推進協議会

地域ノウハウ蓄積型 小水力発電導入マニュアル 作成事業

検討会議および
現場作業回数

20回

成果冊子
ページ数

48ページ

活動の全体目標に
対する達成度

90%

入門助成

1年目

実践

課題

全国各地で小水力発電事業化の調査が進められているが、調査から得られた有望な地点は行政主体で事業化され、地域住民に事業化までの詳細なノウハウが蓄積されない。

目標

●事務局体制が確立され、事業化検討のノウハウが本協議会に蓄積される。●飯地の小水力事業が住民主体で詳細に検討される。●蓄積されたノウハウをまとめた現実に即したマニュアルを作成する。

活動内容

●小水力事業化検討会議を計10回実施し、地域住民と本協議会で事務局体制を確立した。●行政を巻き込むため、水利権や用地、補助金などについて打ち合わせの場を複数設定した。●先進的な活動を行っている地域から講師を招き、住民対象の講演会を実施した。●今年度行った小水力事業化までの活動をまとめ、現場感を持ったマニュアルとして冊子にした。



検討会議の様子

達成できなかったこと

県の指示により、取水予定地点での流量測定を1年間延長することになったため当初の計画通りに事業を進めることができなかった。

今後の展望

実施設計・工事着手までのノウハウを蓄積し、飯地だけでなく周辺地域でも事業化の機運が高まるようにする。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・飯地の小水力事業化の動きに、市内の他の2地域（上矢作、中野方）が関心を持った。
- ・小水力発電事業化を住民に周知するスターターとして、小型小水力発電が2基導入された。

工夫

小水力発電事業化までのノウハウを、地域自治に絡めて現場感を持ったマニュアルにした。